

中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

| 法人名等 | | 目標の内容・実績 | | | |
|------------------------------|-----------|--|---|--|---|
| 【法人名】 公益財団法人 埼玉県公園緑地協会 | 目標 | 有料公園施設利用者数 【令和2年度目標】 7,060千人 【令和3年度目標】 7,130千人 【令和4年度目標】 7,170千人 | 公益目的事業参加者数 【令和2年度目標】 1,542千人 【令和3年度目標】 1,557千人 【令和4年度目標】 1,572千人 | 利用料金・事業収益等 【令和2年度目標】 2,118百万円 【令和3年度目標】 2,137百万円 【令和4年度目標】 2,149百万円 | ボランティア活動延人数 【令和2年度目標】 12千人 【令和3年度目標】 13千人 【令和4年度目標】 14千人 |
| | 各年度の実績 | 【令和2年度実績】 2,852千人 【令和3年度実績】 4,147千人 | 【令和2年度実績】 392千人 【令和3年度実績】 639千人 | 【令和2年度実績】 1,086百万円 【令和3年度実績】 1,445百万円 | 【令和2年度実績】 8.4千人 【令和3年度実績】 7.6千人 |
| 【中期経営計画の期間】 令和2年度～令和4年度 | 法人による自己評価 | 当協会では、有料公園施設として、サッカー場、プール、動物園、水族館などの管理運営を行っている。 利用者数については、天候に左右されることが多いが、公園の特徴と魅力を活かしたサービスや利用者ニーズに応じた事業を展開し、利用者満足度の向上を図っている。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症による施設休止等の影響を受け、目標値に対して298万3千人(41.8%)の減となった。 目標は達成できなかったが、前年度比では45.4%増となり、こども動物自然公園におけるクオッカ効果、さいたま水族館におけるコヅメカワウソ効果が現れている。また、非接触でも楽しめる動画配信やSNS、バーチャル水族館等による積極的な情報発信を行い、インターネット上のサービスを充実させた。 今後も更なる利用者サービスの向上を図り利用者数の増に努めて参りたい。 | 当協会では、公益目的事業として、緑化推進事業、教育関連事業、スポーツ普及・啓発事業、連携・協働事業、公園等管理運営事業を実施している。主に、公園の特色を活かし、魅力を高める花壇整備や、各種スポーツ大会、地域と連携した公園まつり、子育て世代をサポートする託児事業などを実施している。 また、自然や動植物についての観察会などの環境学習事業や、動物飼育のえさやり体験など、体験型イベントはニーズも高く、常に新しい企画を検討している。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策による施設やイベントの休止等の影響を受け、目標値に対して91.8万人(58.9%)の減となった。 今後はコロナ禍の中でも手応えがあったSNSを中心に広報を充実させ、参加者増に努めて参りたい。 | 当協会では、サッカー場、プール、動物園、水族館など有料施設の管理運営を行っている。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症による施設やイベントの休止等の影響を受けたが、インターネットショッピングや、オリジナルグッズの販売を伸ばし、前年度比では33%増となったものの、目標値に対して6億9千2百万円(32.3%)の減となった。 今後は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、利用者の安心安全を確保しながら、地元企業の力を積極的に活用した事業の展開を図り、キッチンカーや自動販売機など需要が伸びている分野の促進や、インターネット通販・動画配信の収益化など、非接触で展開できるサービスを充実させて参りたい。 | 当協会では、公園の管理運営において、県民をはじめ、地元市町、地元企業、各種団体、学校等は、公園を共に育てていくうえで、欠くことができない大切なパートナーであると考えている。そうした地域の方々や公園を核としたさまざまな取組を通じて交流を深め、公園を共に活性化させる取組を進めている。 令和3年度は、各公園の花壇管理や清掃をメインに、植生調査などについてもボランティアとして活動していただいた。 しかし、新型コロナウイルス感染症による施設休止等の影響を受け、活動を自粛したため、目標値に対して5千4百人(41.5%)の減となった。 今後は、参加者の高齢化や価値観の多様化、当協会のSDGs活動などを踏まえ、社会的ニーズに応じた新たなボランティア活動のあり方を検討しながら、更なる県民・地域連携の推進を図って参りたい。 |